

令和5年度 病児保育どんぐり 事業報告

今年は、401名の利用となった。新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い、発熱があり、上気道炎等の症状がある場合は、抗原検査を義務付けていた。保育園の見学の際、病児保育のパンフレットを渡し、案内した。登録者数は増え、病児保育どんぐりを知っていただく機会が増えてきた。

利用者が安心して過ごせるような環境を整え、体調管理をしっかりとしながら対応している。また、保育室に窓を新たに取り付けて空気の入れ替えがさらにできるようになった。回復期の時に園庭に出て遊ぶなど、気分転換するようにしている。

初めての子は泣いてしまう子もいれば少しずつ慣れ、また行きたいという子もいる。年齢にあった玩具を準備し、その子が好きな遊びを用意し、退屈しないように配慮している。

体調が悪く戸外に行けない子も病児の部屋から外を眺めたりして、気分転換できるようにしている。

保護者の方にも一日の様子を伝えるようにし、安心して仕事に行っていただけるように信頼関係を少しずつ保てるようにしている。利用時間が8:30~18:00となっている。

今後も病児利用者が増えるようにパンフレットなどを配布したり、ホームページによる宣伝などをしていきたい。利用者に対しては、引き続き温かい気持ちで寄り添い、保護者の方が安心してお仕事に行けるような病児保育を目指していきたい。

以上